

比例の きまりをつかって、表を うめよう②

なまえ _____

きまりの数を見つけて、表の 空らんを 求める れい1問+問題3問

ひづけ _____

やりかた

- ① 太いわくが空らん。空らんのない列で、下÷上を計算して、「きまりの数」のらんを書く。
- ② 空らんが下の数なら、きまりの数×上。上の数なら、下÷きまりの数。
- ③ 2倍・3倍にならない列も、きまりの数を使えば求められる。式は、とき方のらんに書く。

れい 同じねだんのえんぴつを買います。本数と代金の関係です。

本数(本)	5	7	8	12	きまりの数 (下÷上)
代金(円)	200	280	320	480	40
とき方	きまりの数 = $200 \div 5 = 40$ $40 \times 7 = 280$ $40 \times 12 = 480$				

① いつも同じ速さで歩きます。時間と道のりの関係です。

時間(分)	4	6	7	10	きまりの数 (下÷上)
道のり(m)	240	360			
とき方					

② ある機械がボールペンを作ります。時間と作った数の関係です。

時間(分)	3	5		11	きまりの数 (下÷上)
作った数(こ)	45	75	120		
とき方					

③ ばねにおもりをつるします。おもりの重さとのびの関係です。

おもり(g)	20	30	50	70	きまりの数 (下÷上)
のび(cm)	8		20		
とき方					



比例の きまりをつかって、表を うめよう②【こたえ】

なまえ _____

きまりの数を見つけて、表の 空らんを 求める れい1問+問題3問

ひづけ _____

まるつけ

- ① 赤い数が、空らんと「きまりの数」のらんに入っていて、あてれば正解。れいはそのまま。
 ② とき方はちがう書き方でも正解。空らの数が、4つの列で比例になっていればよい。
 ③ たし算でひとつずつのばしていないか見る。きまりの数をかける(わる)と、どの列も求められる。

れい 同じねだんのえんぴつを買います。本数と代金の関係です。

本数(本)	5	7	8	12	きまりの数 (下÷上)
代金(円)	200	280	320	480	40
とき方	きまりの数 = $200 \div 5 = 40$ $40 \times 7 = 280$ $40 \times 12 = 480$				

① いつも同じ速さで歩きます。時間と道のりの関係です。

時間(分)	4	6	7	10	きまりの数 (下÷上)
道のり(m)	240	360	420	600	60
とき方	きまりの数 = $240 \div 4 = 60$ $60 \times 7 = 420$ $60 \times 10 = 600$				

② ある機械がボールペンを作ります。時間と作った数の関係です。

時間(分)	3	5	8	11	きまりの数 (下÷上)
作った数(こ)	45	75	120	165	15
とき方	きまりの数 = $45 \div 3 = 15$ $120 \div 15 = 8$ $15 \times 11 = 165$				

③ ばねにおもりをつるします。おもりの重さとのびの関係です。

おもり(g)	20	30	50	70	きまりの数 (下÷上)
のび(cm)	8	12	20	28	0.4
とき方	きまりの数 = $8 \div 20 = 0.4$ $0.4 \times 30 = 12$ $0.4 \times 70 = 28$				